

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川越女子高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「学力の向上」と「人格の陶冶」を柱に、保護者・地域の期待に応える学校像となっている。現状・課題などをより広く把握・分析し、目指す学校像を更に明快かつ魅力あるものとなるよう検討することを期待したい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	取り組むべき課題が整理されて重点化が図られ、学校の目指すところが示されている。学校内外の環境分析などを踏まえ、中期的な視点から、更に検討して目標の具体化を進めることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成され、重点目標達成のための取組が進められている。中間進捗状況の把握や学校関係者の意見の活用など、学校自己評価システムが組織的かつ適切に運営されている。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	前年度に比べ、方策と評価指標が整理されている。アクティブ・ラーニングを活用した授業、保護者向け勉強会など方策が組織的に実施されており、評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されている。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状と課題を踏まえた明確な学校経営の方針を教職員に示し、共通理解を図っている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、企画委員会が適切に機能しており、教職員全体で組織的な取組を展開している。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者評価などを次年度の目標・方策の設定に生かしている。課題や次年度への改善策を明らかにするために、各種アンケートの工夫・分析を更に進め、次年度の具体的な取組につなげていただきたい。
特記事項		